入会のご案内

FDM アジアン アソシエイション
ジャパンオーソパシックパブリケイションズ

内容

FDM 習得の流れ　　FDM を学ぶ手順を簡単にご説明いたします。 3
オブザーバー制度（聴講制度）のご案内 4
FDM レベル I 公式セミナー 5
FDM アジアン アソシエイション入会案内 6
誓約書（本人控え） 8
誓約書（FAA 本人控え） 11
誓約書（提出用） 12
誓約書（FAA 提出用） 15
FDM 独自の概念と手法（本人控え） 16
FDM 独自の概念と手法（提出用） 17

FDM 習得の流れ　　FDM を学ぶ手順を簡単にご説明いたします。

１．FDM レベルⅠ公式セミナー（毎年１回開催　１月又は２月の日曜日）
　内容：「FDM 基礎概念」協会規定のセミナー参加資格を満たす方。参加費:110,000 円

２．FDM レベルⅠ公式セミナー受講後、継続して FDM を学び、日々の臨床で実践されたい方は FDM アジアンアソシエイションに入会します。「入会金 22,000 円、年会費 19,800 円、FDM 教科書代 44,520 円(送料込)（入会時、一括納入）（途中入会の方の年会費は月割りになっておりますので上記金額から増減します。)」

３．東京、大阪、福岡など、各地で定期的に開催される FDM ワークショップに参加可能です。（各回参加費 30,000 円）ワークショップ内容：「各種、全身の損傷に対する FDM テクニック」（詳細は年間スケジュール又はセミナー案内メール（定期配信）をご参照下さい。）

・通常の入会では上記の経過となりますが、年１回の公式セミナーまで待たず、オブザーバー制度を利用して FDM を体験し FDM アジアンアソシエイションに途中入会、その後ワークショップから受講することも可能です。途中入会の場合もＦＤMレベルⅠ公式セミナーは必修、参加費は 110,000 円です。

★入会後の直近に開催される FDM レベルⅠ公式セミナー参加が必須条件です。セミナー参加費を入会の際に前納または分割納入していただきます。分割納入の場合、内金として入会時に 60,000 円（内金は契約解除及び返金請求できません)、同年１２月までに残りの 50,000 円を納入。一旦納入したセミナー参加費は、如何なる理由により「FDM レベルⅠ公式セミナー」に参加しない場合でも返金致しませんのでご注意下さい。
途中入会し FDM ワークショップから参加希望される場合は、まず最初にオブザーバー制度を利用してワークショップに参加してください。その後入会を希望する方は、事務局より「セミナー参加用履歴書」、「誓約書」、「FDM 独自の概念と手法」をプリントし必要事項をご記入のうえ FAA 本部宛に郵送して下さい。途中入会の場合も、教科書で予習したうえでワークショップに参加すれば、講義内容を理解し、いち早く臨床で使えるテクニックを学ぶことができます。（現在教科書は会員限定販売）
　以上、簡単に FDM アジアンアソシエイション入会までの流れを説明しましたが、ご理解いただけたでしょうか？文書説明にてご不明な点がありましたら遠慮なくお尋ね下さい。

履歴書、誓約書送付先：　　FDM アジアンアソシエイション本部
福岡県北九州市小倉北区弁天町 5-8 2F 岩田オーソパシックオフィス内　岩田宏平

オブザーバー制度（聴講制度）のご案内

ジャパンオーソパシックパブリケイションズ（JOP）では、FDM に興味を持ち、JOP 規定の参加資格に当てはまる方を対象に、オブザーバー制度を設定しています。FDM アジアンアソシエイション（FAA）に入会しなくても 1 回のみ FDM ワークショップを体験参加出来ます。参加後、継続して FDM を学びたい方は FAA 入会が必要となります。興味のある方は FAA 事務局までご連絡下さい。

参加資格（FDM セミナー参加条件、並びに FAA 入会条件と同じ）
以下のすべて
★国家資格保持者（医師、理学療法士、柔道整復師、鍼灸師等）
★足つぼ、耳つぼ、エステ、ダイエット関連、健康器具・補助食品販売などには従事せず、手技療法のみを実践している方。（該当しない方は準会員制度参照）
★DC、カイロプラクティック認定者でない方。（カイロプラクター参加不可）

参加可能セミナー：FDM ワークショップ。（ワークショップ以外の FDM レベル I 公式セミナーや他の特別セミナーは除外します。九州、大阪、東京他、どのワークショップでも可能です。日程は JOP ホームページを参照してください）
参加料：44,000 円（税込）
参加可能回数：1 回のみ（それ以後は FAA 入会が必要）
ワークショップ中は FAA 会員と同様の扱いとなります。（質問、実技練習等）
★ 筆記用具持参、写真・動画類の撮影はすべて不可。実技しやすい服装
★ 講義内容、記録内容は自己学習の使用に留め、第三者への情報伝達は不可

オブザーバー制度利用希望の方は、参加希望のワークショップ日程をメールにてお知らせください。参加当日は、ワークショップ前に、簡単な面談を行いますので午前 9 時 30 分頃、会場入りしてください。セミナー当日の緊急連絡は携帯電話にお願いします。
090-9147-3372 （岩田）

FDM アジアンアソシエイション（FAA） 事務局：松本佐紀子
E－MAIL：office@fdm-asia.com

FDM レベルⅠ公式セミナー

主催　ジャパンオーソパシックパブリケイションズ

セミナー内容
FDM の基礎概念とその実際の治療を、スライドや多数の臨床ビデオを使い講義、実技指導致します。筋膜の種類と特性、筋膜歪曲の発生の仕組みと痛みの関連性など、初心者にも理解しやすい構成になっています。　（FDM に関する詳細はホームページをご参照下さい）
FDM 公式サイト https://fdm-asia.com/

講　師　　田中啓介 FDM.O.　岩田宏平 FDM.O.
参加費用　　一般 110,000 円　FAA 会員 30,000 円（税込み）
定　員　　50 名（定員になり次第締切らせていただきます）お振り込み順に会場座席をご用意します。（振込口座は申し込み後連絡いたします。一旦納入された参加費は、開催者都合のセミナー中止など、特別な場合を除き返金できませんので御了承下さい。振り込み票を領収書の代わりとさせていただきます）
参加資格　　FAA 会員、医師、理学療法士、柔道整復師などの国家資格保有者。詳細はメールで気軽にお尋ね下さい。（電話での対応は致しておりません）
申し込み・問い合わせ先　　FAA 事務局　松本佐紀子　E-mail：office@fdm-asia.com

下記にご記入の上 FAA 本部に郵送して下さい。
FAA 本部 福岡県北九州市小倉北区弁天町 5-8 2F 岩田オーソパシックオフィス内

FDM レベル I セミナー参加申込書　　（　　月　　日申し込み）

氏名：　　（　　才）㊞　Name（ローマ字）

電話番号：　　FAX 番号：
住所：〒

所属団体・医療資格名：

パソコン・携帯メールアドレス：

FDM アジアン アソシエイション入会案内

ファッシャルディストーションモデル（FDM 旧名、オーソパシックメディスン）が日本に初めて紹介されたのは 1998 年です。当時、FDM 治療の劇的な効果は臨床家の誰もが認めたものの、その技術の習得は非常に困難を極めるため、普及という面では皆無の状態でした。田中啓介 FDM,O.が FDM 創始者ティパルドス D.O.の命を受け、この FDM アジアンアソシエイションを設立したことを機に、国内における定期的セミナー、ワークショップを通し、着実に臨床家の間にその名前と他に類を見ない施術効果が知れ渡るようになりました。また欧米の FDM 団体や医学会との国際交流も深まり、世界においても団体としての地位は確立されたと自負しております。しかしながらいつの時代においても、様々な筋骨格系損傷に悩まされる方は後を絶ちません。そのような患者さんに適切な FDM 治療を容易に供給できる体制を整えるべく、私共は幅広く活動を行っていくことが必要です。FDM の治療技術の習得は、その普及の手立ての一つに過ぎません。ぜひこの素晴らしい手技治療を習得し、共に FDM の保護と普及活動を行っていただきたいと思います。皆様のご理解・ご支援の程、宜しく御願いいたします。

FDM アジアンアソシエイション　　代表 岩田宏平 FDM.O.

入会資格：★国家資格保持者（医師、理学療法士、柔道整復師）★当協会の認定者
★足つぼ、耳つぼ、エステ、ダイエット関連、健康器具・補助食品販売などには従事せず、手技療法のみを実践している方。（該当しない方は準会員制度参照）
★DC、カイロプラクティック認定者、鍼灸師、マッサージ師の方は、準会員制度参照）
書類送付先：ＦＤＭ アジアン アソシエイション本部　 岩田宏平まで

住所：〒803-0856 福岡県北九州市小倉北区弁天町 5-8 2F
事務局 E-mail:　office@fdm-asia.com

FDM ワークショップへの参加には資格制限があり、事前審査が必要です。FDM アジアンアソシエイションを通してジャパンオーソパシックパブリケイションズに許可を得ますので、以下のものをご用意し郵送してください。

・指定の誓約書 2 種類と 17 ページの「FDM 独自の概念と手法」（それぞれ署名捺印後提出用は FAA 事務局へ郵送し本人控え用は各自の責任で保管してください）
・ 履歴書（指定の履歴書に顔写真、経歴、所属団体、過去と現在の施術内容、貴院または勤務先の正面から撮影した写真を貼付、メールアドレス、URL 等。FDM レベル I 公式セミナーに参加する際に既に提出された方は必要ありません）

※2018 年に愛知県を中心とした団体（当協会の元会員が制約違反の上設立）が起こしたFDM 盗作セミナー開催を機に、その後の予防策として誓約書の内容を厳格に改定いたしました。元会員は柔道整復師や整体師に対し、数時間で数十万円の費用を詐取し、FDM の表面的な手法を十分な理解なく流出させていました。そのセミナーの存在は、当人とその受講者（被害受講者）による、禁忌事項を無視した偽施術の乱用により、症状悪化等の被害を受けた多くの患者さんの苦情により発覚しました。このような誓約違反が二度と行われることのないように、そして FDM の技術を教育する側と受講する側の双方が、快く技術の伝達ができるように、この誓約書の改定となりました。非常に厳しい内容となっておりますが、一つの治療分野を歪めてしまうこのような悲しい行為の再発を防止し、受講者の皆様に安心して FDM を習得していただく重要な手段であります。ご了承いただきますようお願いいたします。またご不明な点がございましたら遠慮なくお尋ねください。

誓約書（本人控え）

ジャパンオーソパシックパブリケイションズ
代表 田中　啓介　殿

私は、ジャパンオーソパシックパブリケイションズ（以下「貴社」といいます。）主催のＦＤＭセミナー、ワークショップに参加するにあたり、その場で公開される知識、手技、情報等は高度に機密性が高い事項であることを認識し、自身の患者に対する処置以外の使用等が厳に禁止されていることを認識し、以下の事項を誓約いたします。

第１条

（１）私は、ファッシャルディストーションモデル（以下「FDM」）の技術あるいは類似した手技療法（損傷の患部に直接圧力を加える、患者が示すボディーランゲージや他の身体的情報や表現により損傷の診断を下すなど。別紙資料『ＦＤＭ独自の概念と手法』参照　以下これらを「ＦＤＭの技術等」という）に対する知識、認識が全くなく、独自の手技療法や民間療法を開発する予備知識が全くない状態で参加いたします。

（２）私は、ＦＤＭセミナー、ワークショップで学んだ、あるいは見たすべての技術、理論は、自身の患者に対する処置としてのみ使用し、他のいかなる目的にも利用、流用、引用、使用いたしません。特に以下の事項は禁止される行為であることを理解しました。

①　ＦＤＭセミナー、ワークショップで学んだ全ての手技療法等について、公演やセミナーを開催し、或いは講義等をいたしません。
（いかなる人間に対しても、すべての手技療法を教えません。）

②　ＦＤＭの技術等を引用、応用したセミナーや勉強会等を開催しません。
（ＦＤＭの技術等、類似した技術の創作、名称を変更したり引用したりしたセミナー、講演などを行ったり、他の教育機関への流用、公的、私的勉強会等への流用、第三者を用いての同等の行為をさせるなどの行為をしません。）

③　同僚、スタッフ、知人等、如何なる人間にもＦＤＭの技術等の見学、観察、解説等、情報漏洩を行いません。

（３）私は、貴社に対し、前２項の誓約に違反した場合、もしくは少しでも違反を疑われる行為があった場合、直ちにすべての状況を報告し、関連する書類等を提出し、監査を受け入れなければならないこと（必要経費の負担を含む）を了承し、違反して得た収益がある場合には、その収益の三倍の金額を貴社より指定された期限までに異議なく支払います。

（４）私は、貴社に対し、前項の関連書類の提出にあたり、証拠の隠滅、紛失等を行った場合またはそのような行為を疑われる行為をした場合（いずれもそのように貴社が判

断した場合)、貴社が認定した、推定される収益金額の三倍の金額を貴社より指定された期限までに異議なく支払います。

（５）私は、前項の推定が困難な場合には、貴社に対し違約金３００万円を、貴社より指定された期限までに支払います。

第２条

私は、前条の違反があった場合、私が貴社のＦＤＭセミナー、ワークショップに継続して参加することができる否かの決定権が貴社にあることを認識し、私は、その決定に異議なく従うことを誓約します。

第３条

（１）貴社によりその参加者に対して伝えられた講義内容、配布資料等をいかなる第三者（家族、友人、スタッフ等）にも共有しません。

（２）私は、ＦＤＭの教科書（『FDM　医学と外科的処置の実践範囲内におけるファッシャルディストーションモデルの理論的、臨床的応用』（全版））、『STAY IN THE MODEL』、『FDM　真正の筋膜ディストーションモデル』につき、いかなる手段・方法・理由であっても複製（自身の勉強用の場合も含む。）、保存、転写、他人（家族、友人、スタッフ等）への貸与、譲渡、転売、書き写し、ＷＥＢサイトへの掲載、ＳＮＳへの掲載、貸出、転売などをしません。またこれらの行為を、ＦＤＭや関連する専門用語の名称を変更する方法においても行いません。

（３）私は、前項に違反する行為及びそれが疑われる行為、類似した行為は一切行いません。

（４）私は、前３項に違反する行為をした場合、もしくは少しでも違反を疑われる行為があった場合、直ちにすべての状況を報告し、関連する書類等を提出し、監査を受け入れなければならないこと（必要経費の負担を含む）を了承し、私は貴社に対し金５０万円の違約金を貴社より指定された期限までに支払うことを誓約します。

（５）私は、貴社に対し、第１項乃至第３項に違反する行為をし、収益を得ていた場合には、その三倍の金額を貴社より指定された期限までに異議なく支払うことを誓約します。

（６）私は、前項の違反があり、その証拠の隠滅、紛失等があった場合、貴社が収益として推定した金額を収益の金額として、その三倍の金額を貴社より指定された期限までに異議なく支払うことを誓約します。

第４条

私は、私自身が管理する（第三者をして管理させ、実質的に私自身である場合も含む。）ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ブログ、その他類似した媒体、チラシ、パンフレット、看板、投稿論文等に貴社の許可なく FDM に関する記事、用語の説明等を記入・投稿等一切の行為をいたしません。

第５条

私は、セミナー、ワークショップ中に起きた事故、負傷、後遺症はすべて当事者の自己責任とし、貴社に対し損害賠償請求等は一切行いません。

第６条

私は．貴社の定める、『セミナー、ワークショップ参加条件』に禁止項目として記載された業務、カイロプラクティック、整体、エステ、耳つぼ、ダイエット、痩身、小顔矯正、セミナー開催、勉強会開催などに関与していないこと、将来的においても関与しないことを誓約します。

第７条

（１）私は、第１条から前条の事項を遵守することを改めて誓約します。

（２）私は、第１条から前条の事項に違反等があった場合には既定の要求、請求に異議なく従います。

（３）私は、私に生じた誓約違反に関する精査、訴訟等、人件費、裁判費用、弁護士費用等は、第１条から前条の各損害項目の外にも、そのすべてを負担することとし、一切の異議申し立てなく要求された期日までに確実に支払うことを誓約します。

（４）本件に関する紛争は、福岡地方裁判所又は福岡簡易裁判所を専属的管轄とすることに合意します。

（５）本誓約は、私が貴社から退会した後も有効であることを認識しています。

年　　月　　日

住所

氏名　　印

誓約書（FAA 本人控え）

FDM アジアンアソシエイション
代表 岩田　宏平　殿

第１条　私は、FDM アジアンアソシエイションに入会するにあたり、FDM を適切に普及促進かつ保護し、国際交流を深めるという協会の趣旨に賛同すると同時に、会則を遵守し協会に対し如何なる損害をも与えないことを誓約致します。

第２条　私は、協会内での活動、セミナー受講時に留まらず、社会活動（開業先、勤務先含む）において、社会規範に反する行動（法令違反、ハラスメント、秘密保守違反等）は決して行わないことを誓約します。

第３条　あらゆる著作権、肖像権およびそれらに付帯する権利はすべて FDM アジアンアソシエイションに帰属することを認識し、これらの権利を侵害しないことを誓約します。

年　　月　　日

住所

氏名　　印

誓約書（提出用）

ジャパンオーソパシックパブリケイションズ
代表 田中　啓介　殿

私は、ジャパンオーソパシックパブリケイションズ（以下「貴社」といいます。）主催のＦＤＭセミナー、ワークショップに参加するにあたり、その場で公開される知識、手技、情報等は高度に機密性が高い事項であることを認識し、自身の患者に対する処置以外の使用等が厳に禁止されていることを認識し、以下の事項を誓約いたします。

第１条

（１）私は、ファッシャルディストーションモデル（以下「FDM」）の技術あるいは類似した手技療法（損傷の患部に直接圧力を加える、患者が示すボディーランゲージや他の身体的情報や表現により損傷の診断を下すなど。別紙資料『ＦＤＭ独自の概念と手法』参照　以下これらを「ＦＤＭの技術等」という）に対する知識、認識が全くなく、独自の手技療法や民間療法を開発する予備知識が全くない状態で参加いたします。

（２）私は、ＦＤＭセミナー、ワークショップで学んだ、あるいは見たすべての技術、理論は、自身の患者に対する処置としてのみ使用し、他のいかなる目的にも利用、流用、引用、使用いたしません。特に以下の事項は禁止される行為であることを理解しました。

①　ＦＤＭセミナー、ワークショップで学んだ全ての手技療法等について、公演やセミナーを開催し、或いは講義等をいたしません。
（いかなる人間に対しても、すべての手技療法を教えません。）

②　ＦＤＭの技術等を引用、応用したセミナーや勉強会等を開催しません。
（ＦＤＭの技術等、類似した技術の創作、名称を変更したり引用したりしたセミナー、講演などを行ったり、他の教育機関への流用、公的、私的勉強会等への流用、第三者を用いての同等の行為をさせるなどの行為をしません。）

③　同僚、スタッフ、知人等、如何なる人間にもＦＤＭの技術等の見学、観察、解説等、情報漏洩を行いません。

（３）私は、貴社に対し、前２項の誓約に違反した場合、もしくは少しでも違反を疑われる行為があった場合、直ちにすべての状況を報告し、関連する書類等を提出し、監査を受け入れなければならないこと（必要経費の負担を含む）を了承し、違反して得た収益がある場合には、その収益の三倍の金額を貴社より指定された期限までに異議なく支払います。

（４）私は、貴社に対し、前項の関連書類の提出にあたり、証拠の隠滅、紛失等を行った場合またはそのような行為を疑われる行為をした場合（いずれもそのように貴社が判

断した場合)、貴社が認定した、推定される収益金額の三倍の金額を貴社より指定された期限までに異議なく支払います。

（５）私は、前項の推定が困難な場合には、貴社に対し違約金３００万円を、貴社より指定された期限までに支払います。

第２条

私は、前条の違反があった場合、私が貴社のＦＤＭセミナー、ワークショップに継続して参加することができる否かの決定権が貴社にあることを認識し、私は、その決定に異議なく従うことを誓約します。

第３条

（１）貴社によりその参加者に対して伝えられた講義内容、配布資料等をいかなる第三者（家族、友人、スタッフ等）にも共有しません。

（２）私は、ＦＤＭの教科書（『FDM　医学と外科的処置の実践範囲内におけるファッシャルディストーションモデルの理論的、臨床的応用』（全版））、『STAY IN THE MODEL』、『FDM　真正の筋膜ディストーションモデル』につき、いかなる手段・方法・理由であっても複製（自身の勉強用の場合も含む。）、保存、転写、他人（家族、友人、スタッフ等）への貸与、譲渡、転売、書き写し、ＷＥＢサイトへの掲載、ＳＮＳへの掲載、貸出、転売などをしません。またこれらの行為を、ＦＤＭや関連する専門用語の名称を変更する方法においても行いません。

（３）私は、前項に違反する行為及びそれが疑われる行為、類似した行為は一切行いません。

（４）私は、前３項に違反する行為をした場合、もしくは少しでも違反を疑われる行為があった場合、直ちにすべての状況を報告し、関連する書類等を提出し、監査を受け入れなければならないこと（必要経費の負担を含む）を了承し、私は貴社に対し金５０万円の違約金を貴社より指定された期限までに支払うことを誓約します。

（５）私は、貴社に対し、第１項乃至第３項に違反する行為をし、収益を得ていた場合には、その三倍の金額を貴社より指定された期限までに異議なく支払うことを誓約します。

（６）私は、前項の違反があり、その証拠の隠滅、紛失等があった場合、貴社が収益として推定した金額を収益の金額として、その三倍の金額を貴社より指定された期限までに異議なく支払うことを誓約します。

第４条

私は、私自身が管理する（第三者をして管理させ、実質的に私自身である場合も含む。）ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ブログ、その他類似した媒体、チラシ、パンフレット、看板、投稿論文等に貴社の許可なく FDM に関する記事、用語の説明等を記入・投稿等一切の行為をいたしません。

第５条

私は、セミナー、ワークショップ中に起きた事故、負傷、後遺症はすべて当事者の自己責任とし、貴社に対し損害賠償請求等は一切行いません。

第６条

私は．貴社の定める、『セミナー、ワークショップ参加条件』に禁止項目として記載された業務、カイロプラクティック、整体、エステ、耳つぼ、ダイエット、痩身、小顔矯正、セミナー開催、勉強会開催などに関与していないこと、将来的においても関与しないことを誓約します。

第７条

（１）私は、第１条から前条の事項を遵守することを改めて誓約します。

（２）私は、第１条から前条の事項に違反等があった場合には既定の要求、請求に異議なく従います。

（３）私は、私に生じた誓約違反に関する精査、訴訟等、人件費、裁判費用、弁護士費用等は、第１条から前条の各損害項目の外にも、そのすべてを負担することとし、一切の異議申し立てなく要求された期日までに確実に支払うことを誓約します。

（４）本件に関する紛争は、福岡地方裁判所又は福岡簡易裁判所を専属的管轄とすることに合意します。

（５）本誓約は、私が貴社から退会した後も有効であることを認識しています。

年　　月　　日

住所

氏名　　印

誓約書（FAA 提出用）

FDM アジアンアソシエイション
代表 岩田　宏平　殿

第１条　私は、FDM アジアンアソシエイションに入会するにあたり、FDM を適切に普及促進かつ保護し、国際交流を深めるという協会の趣旨に賛同すると同時に、会則を遵守し協会に対し如何なる損害をも与えないことを誓約致します。

第２条　私は、協会内での活動、セミナー受講時に留まらず、社会活動（開業先、勤務先含む）において、社会規範に反する行動（法令違反、ハラスメント、秘密保守違反等）は決して行わないことを誓約します。

第３条　あらゆる著作権、肖像権およびそれらに付帯する権利はすべて FDM アジアンアソシエイションに帰属することを認識し、これらの権利を侵害しないことを誓約します。

年　　月　　日

住所

氏名　　印

FDM 独自の概念と手法（本人控え）

各用語の内容は特に注記のある外は『医学と外科的措置の実践的範囲内におけるファッシャルディストーションモデルの理論的、臨床的応用』第４版(ＦＤM教本)に従う。

1. トリガーハンドテクニック　親指の先端で患部の周辺に圧力を加えながら親指をずらしていく施術方法。その名称変更、圧力を加える指の変更、及び道具の代用を含む。

2. ヘルニアトリガーポイント　臀部、僧帽筋部、腹部に親指で圧力を加え、一定時間保持する施術方法。その名称変更、圧力を加える指の変更、及び道具の代用を含む。

3. コンテニアムテクニック　親指の先端で筋肉と骨との移行部の痛みの点に圧力を加えた状態で、患部がリリース状態となるまで一定時間維持する施術方法。その名称変更、圧力を加える指の変更、及び道具の代用を含む。

4. フォールディングテクニック　圧縮、又は牽引を導入した状態で関節を操作する手法。

5. シリンダーテクニック　吸引カップを装着し、患者を動かす施術法。

6. テクトニックテクニック

7. 補助テクニック　人指し指と親指、あるいは両手の親指を用いて患部の皮膚をつまみ患者に患部を動かさせる行為など。

8. その他　『医学と外科的措置の実践的範囲内におけるファッシャルディストーションモデルの理論的、臨床的応用』第４版(ＦＤM教本)、及び『STAY IN THE MODEL』シリーズに掲載されたすべての方法。その名称変更、施術を行う手指の変更、及び道具の代用を含む。

9. ボディーランゲージ（患者が痛みを表現する際に行う動作）を基に損傷の状態を判断する方法と理論。

上記内容を異論なく理解し承諾いたしました。

氏名　　印

FDM 独自の概念と手法（提出用）

各用語の内容は特に注記のある外は『医学と外科的措置の実践的範囲内におけるファッシャルディストーションモデルの理論的、臨床的応用』第４版(ＦＤM教本)に従う。

1. トリガーハンドテクニック　親指の先端で患部の周辺に圧力を加えながら親指をずらしていく施術方法。その名称変更、圧力を加える指の変更、及び道具の代用を含む。

2. ヘルニアトリガーポイント　臀部、僧帽筋部、腹部に親指で圧力を加え、一定時間保持する施術方法。その名称変更、圧力を加える指の変更、及び道具の代用を含む。

3. コンテニアムテクニック　親指の先端で筋肉と骨との移行部の痛みの点に圧力を加えた状態で、患部がリリース状態となるまで一定時間維持する施術方法。その名称変更、圧力を加える指の変更、及び道具の代用を含む。

4. フォールディングテクニック　圧縮、又は牽引を導入した状態で関節を操作する手法。

5. シリンダーテクニック　吸引カップを装着し、患者を動かす施術法。

6. テクトニックテクニック

7. 補助テクニック　人指し指と親指、あるいは両手の親指を用いて患部の皮膚をつまみ患者に患部を動かさせる行為など。

8. その他　『医学と外科的措置の実践的範囲内におけるファッシャルディストーションモデルの理論的、臨床的応用』第４版(ＦＤM教本)、及び『STAY IN THE MODEL』シリーズに掲載されたすべての方法。その名称変更、施術を行う手指の変更、及び道具の代用を含む。

9. ボディーランゲージ（患者が痛みを表現する際に行う動作）を基に損傷の状態を判断する方法と理論。

上記内容を異論なく理解し承諾いたしました。

氏名　　印

ＦＤＭセミナー・ワークショップ参加用　履歴書

年　　月　　日

ふりがな	※ 男 ・ 女
氏　名	
生年月日 年　　月　　日生　（満　　歳）	

（ここに顔写真を添付）

現住所（自宅）〒　　-	自宅 電話：（　　）　　- ＦＡＸ：（　　）　　-
開業・勤務先住所　〒　　-	開業・勤務先 電話：（　　）　　- ＦＡＸ：（　　）　　-
E-mail：パソコン、又は携帯アドレス	携帯電話 （　　）　　-

年（西暦）	月	学歴・職歴（各別にまとめて書く）
		学　　歴
		職　　歴
		以上

年（西暦）	月	国家資格免許、その他の免許、資格

所属団体名	趣味・特技
FDM を知ったきっかけ、学ぶ動機	過去・現在の施術内容 過去： 現在：
配偶者　　子 （有・無）　　人	

開業又は勤務先　写真貼付　（正面から写したもの）